

# 女と男の一行詩



応募者数 66 名  
応募総数 158 点

## 最優秀賞

共働き 帰宅時間は一緒でも

「めしはまだか」と夫言う

仕事が忙しく、忙しいからこそ仕事が面白く、つつい帰宅が遅くなってしまいます。先に帰っている夫はテレビを見ながらじっと待っていて、「今夜のおかずはなーにかな?」：私に遠慮せず、ご飯作ってくれてもいいのに…と思います。が、なかなか口には出せません 刈屋光恵さん

## 帯広市長賞

母の日に カーネーションを夫から

うれしくもあり さみしくもあり

主人とはお見合いして3ヶ月で結婚。すぐに長男が生まれたいか、今日まで名前で呼ばれたことがなく、いつも私は「お母さん」。母の日にカーネーションを夫から渡された時に、ふっと思った気持ちを表現しました。 石井博子さん

## 帯広市議会議長賞

「うちはね、彼と私、

手の空いている方が家事をしているわ」と

あー、言ってみたい

ある会合での一場面です。夫婦でパン屋を営む知人の家庭では、自然の成り行きのように手の空いている方が家事もするそうです。その話を聞いた女性たちの、ため息にも似た一言。私も、この知人のような家庭が理想です。 平井明美さん

## 帯広市教育長賞

男の子の色 女の子の色 どちらにあるの?

いろんな色のふくまってみたいな

木村遥々ん

## 優秀賞

あなた会社定年 わたし

家事いつ定年?

小林ハマ子さん

## 優秀賞

夫婦茶碗 大きき家事と

反比例

谷口敦司さん

### 入選

同じ仕事しているのに

なんで出てくる男と女の賃金差

岡田祐子さん

### 入選

「だから」と「くせに」は仕事の敵

酒井隆幸さん

### 入選

夫エプロン 手を振る 妻の

出勤日

池田宏さん

### 入選

おむつ換え 若いパパの 手の

巧み

松原みち子さん

### 入選

口では男女共生、行動は

性別役割分担、迷える五十年代

伊藤容子さん